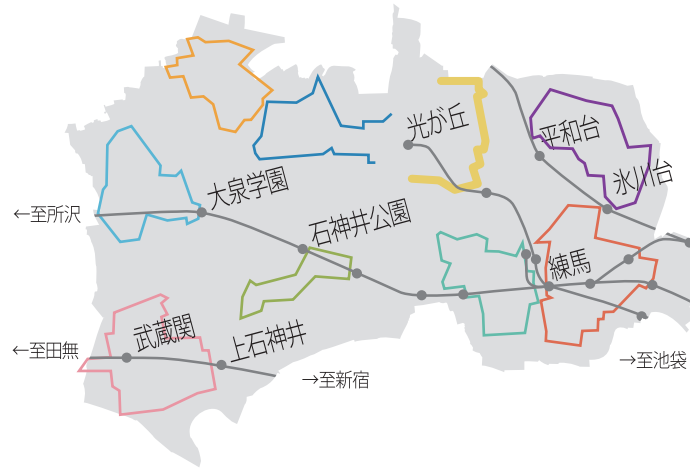


ねりまの散歩道

「ねりまの散歩道」は、身近にある景観を楽しみながら歩く散歩道です。

まちの景観の下地となっているのは、まちの地形や歴史です。ちょっとした坂道の上下から見えるみどり等にそのまちらしさが隠れています。「歩きたくなるまち 住みつけたくなるまちねりま」に出かけてみませんか。



ホームページでも情報を発信中!



ねりま景観まちづくり
まちあるきに便利な情報が満載です。
●見どころ
●イベント情報
●マップetc

地区名で検索すると
周辺の景観情報が
見られます!



<https://nerima-keikan.jp/>

ねりま景観まちづくり

検索

1 石神井公園コース

6 豊玉・高稲荷公園コース

2 武蔵関公園コース

7 中村・向山庭園コース

3 大泉井頭公園コース

8 光が丘公園コース

4 大泉中央公園コース

9 城北中央公園コース

5 清水山・稲荷山コース

発行：練馬区 都市整備部 都市計画課
編集：(公財)練馬区環境まちづくり公社 みどりのまちづくりセンター
印刷：令和3年(2021年)4月

光が丘公園コース

家族やグループのふれあいの場となっている

ポイント

1 団地をぐるりとめぐる並木



都立光が丘公園の東側にあるむつみ台団地は、3つの建物が平行に配置され、桜を中心とした並木道がその周囲を取り囲んでいます。並木のみどりが、整然とした団地の周囲にやわらかな印象を与えています。

ポイント

2 奥行きを感じさせる愛宕神社の境内

田柄小学校の南にある愛宕神社は、住宅街から延びる参道と鳥居、その奥にたたずむ社殿が、奥行き感のある豊かな景観を生み出しています。小学校との境界にある背後の社叢林（しゃそうりん）は、参拝する人の流れを受け止めるかのようです。



細長く区切られた境内から田柄小学校は見通せません。



ポイント

3 田柄川がつくる緩やかな地形

田柄地区の真ん中を東西に横切るのが田柄川緑道です。その名のおり、田柄川を暗渠化（ふたをかけた状態）して整備した緑道です。この場所は周囲から一段低くなっているため、緩やかな坂が向き合っています。



南側の坂の上から北の方角を望むと、愛宕神社の豊かなみどりが眺められます。緩やかな高低差による田柄らしさがにじむ景観が楽しめます。

ポイント

4 行きどまりのある住宅地を歩きながら

春日町地区は、戦後、徐々に宅地開発が進められた住宅地です。住宅が立ち並び、迷路のように折れ曲がった道を先に進めば、住宅街の中にある公園、幼稚園や住宅団地などを発見しながらの散歩を楽しむことができます。



ポイント

5 愛染院の参道

由緒ある愛染院の表には、寺院へと続くイチョウ並木が印象的な参道があります。沿道の落ち着いた佇まいの飲食店などとともに、参詣を演出する道路景観となっています。



ポイント

8 みどりがあふれる住宅地の街並み

中ノ宮竹林公園には、周囲を取り囲むように花壇があり、地域の方々の手による四季折々の草花が沿道を彩ります。周辺にある憩いの森や農地、屋敷林などの様々なみどりと相まって、街並みに練馬らしさがあふれています。



ポイント

6 春日町のランドマーク「エリム春日町」

春日町のランドマークとして、環八通りと光が丘南通りの交差部分に高くそびえるのが「エリム春日町」です。区内で初めての再開発事業により平成8年に完成しました。



ポイント

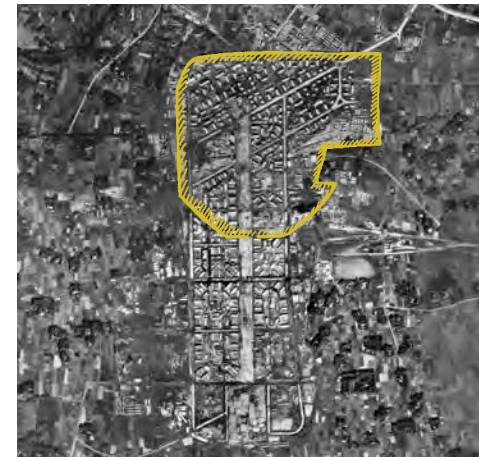
7 サクラ並木の連続感

光が丘公園南通りのエリム春日町から光が丘団地までの間には、サクラの並木があります。木々の枝が道路に覆いかぶさり、さながらみどりのトンネルのようです。沿道にある練馬小学校のあたりでは、校内のサクラの木などと連坦して、さらに印象的な景色となっています。

ポイント

9 南北に延びる並木

夏の雲公園の脇から都立光が丘公園に向かって北へ延びるふれあいの小径は、まっすぐにイチョウの並木道が続く園路です。かつて成増陸軍飛行場であった頃の滑走路の一部で、当時の名残を今に伝えています。



[地図出典：地図情報ねりまっぶ]

昭和22年の地図を見ると、戦前に建設された成増飛行場の滑走路が見えます。戦後米軍に接收されグラントハイツの一部となりました。



現在の光が丘公園の範囲